

1 評価目的

・「事業の実施状況の確認」、「目標達成状況」等の評価を行うことによって、より効果的、効率的に運行されることを目的とする。

2 評価の流れ

日程	令和3年6月25日 (愛知県バス対策協議会)	令和3年10月 ～令和4年9月	令和5年1月20日 (愛知県バス対策協議会)	令和5年2月15日 (国による第三者評価委員会)
対象路線	幹線系統補助路線	幹線系統補助路線	幹線系統補助路線	国庫補助対象路線
実施内容	計画申請	事業実施	一次評価 (自己評価)	二次評価 (有識者による第三者評価)

※稲武地域バス・藤岡地域バスが該当する地域バス国庫補助路線(地域内フィーダー系統)については、令和4年12月第4回豊田市公共交通会議にて評価を実施済。

令和4年度 豊田市地域間幹線系統 国庫補助対象路線の評価 (令和3年10月～令和4年9月)

【第4回愛知県バス対策協議会(令和5年1月20日)における一次評価】

系統	収支率	利用者 (目標)	利用者 (実績)	状況	幹線系統としての利用状況の考察	国庫補助金額
藤岡・豊田線 (加納経由)	31.4%	67,847	82,754	達成	・藤岡地区からの高校通学や福祉施設通所等日常利用が多い	6,562,500円
小原・豊田線	33.5%	131,606	157,909	達成	・小原・藤岡地区からの高校通学・通勤路線 ・秋の観光シーズンには観光利用も多い(小原四季桜)	22,299,500円
藤岡・豊田線 (西中山経由)	45.4%	77,612	101,216	達成	・藤岡地区からの高校通学・通勤路線	7,119,000円
旭・豊田線	17.9%	64,811	80,446	達成	・旭・足助・石野方面からの高校通学路線。市内から足助方面への通学利用も増加	9,869,500円
さなげ・足助線	34.6%	143,055	159,084	達成	・沿線高校等への通学路線。接続駅、病院利用も多い ・秋の観光シーズンには観光利用も多い(香嵐溪)	15,137,500円
下山・豊田線	54.8%	139,429	129,972	未達	・下山・松平地区からの高校通学路線。通勤利用もあり	13,705,500円
高岡ふれあい路線②	24.6%	72,213	87,328	達成	・通勤、通学のための鉄道駅(知立・若林)への利用が多い	6,104,500円
矢並線	41.4%	110,524	112,166	達成	・秋の観光シーズンには観光利用も多い(香嵐溪)	11,750,000円
大沼線	29.0%	36,984	48,623	達成	・利用者は減少傾向。下山地域の協議会で利用促進策を検討	3,397,500円
岡崎・足助線	37.6%	108,553	120,995	達成	・秋の観光シーズンには観光利用も多い(香嵐溪)	8,956,000円

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和5年1月20日

協議会名：愛知県バス対策協議会

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点（特記事項を含む）	
	運営主体	運行事業者	No、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)				
								R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数	R3実績			R4実績
03岡崎 10豊田	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	1 大沼	名鉄東岡崎駅～岡崎北高前～大沼	・HP、スマホでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・岡崎市公共交通マップの作成・配布 ・近隣市町のバスマップの配布 ・高齢者バスに対して補助金の交付 ・豊田市ガイドブック、みちなびとよたに掲載	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：36,984 実績：48,623 達成率：131.5% 一時的に、山間部の下山区と東岡崎駅間での昼間帯の利用者が増加した。	17.3	15.6	2.8	5.6	20.4	29.0	両市を跨ぐ利用者の内訳は、通勤4.8%、通学0.0%、高齢者71.7%、定期外95.2%となっている。東岡崎駅の利用者、中心市街地への買物等のための利用者が大部分と考えられる。市町村を跨いでの利用者数は、13%（昨年度+6%）になった。豊田市から岡崎市への移動手段として一定の役割を果たしている。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・岡崎市公共交通マップの作成、配布 ・感染対策等の安全性の周知 ・豊田市バスマップへの掲載 ・みちなびとよたへの掲載
	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	2 岡崎・足助	名鉄東岡崎駅～細川～足助	・HP、スマホでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・岡崎市公共交通マップの作成・配布 ・高齢者バスに対して補助金の交付 ・豊田市ガイドブック、みちなびとよたに掲載	A 雨量規制による通行止のため10本の運休となったが、それ以外は所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：108,553 実績：120,995 達成率：111.5% コロナと共存する新しい生活様式が定着しつつあるため。	28.8	30.0	3.8	8.0	35.8	37.6	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤22.2%、通学17.8%、高齢者71.7%、定期外28.9%となっており高齢者の比率が高い。東岡崎駅の利用者、通学、通院、買物のための利用者が大部分と考えられる。沿線学校への通学利用のほか、香嵐渓への観光目的の利用もある。両市を跨る幹線系統として重要な役割を果たしている。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・岡崎市公共交通マップの作成・配布 ・感染対策等の安全性の周知 ・豊田市バスマップ ・みちなびとよたへの掲載
10豊田	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	3 矢並	豊田市～矢並公民館前～足助	・HP、スマホでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・豊田市ガイドブック、みちなびとよたに掲載 ・観光シーズンにバス停案内や告知の掲示	A 雨量規制による通行止のため23本の運休となったが、それ以外は所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：110,524 実績：112,166 達成率：101.5% コロナと共存する新しい生活様式が定着しつつあるため。	53.1	44.0	3.8	11.7	38.2	41.4	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤13.5%、通学32.4%、高齢者71.7%、定期外43.2%となっており定期外の比率が高い。豊田市駅の利用者、中心市街地への通院、買物のための利用者が大部分と考えられる。市町村を跨いでの利用者は20%程度で、郊外から豊田市中心部への移動手段として重要な役割を果たしている。また足助地区への通学利用や、香嵐渓への観光目的の利用も多い。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・豊田市バスマップへの掲載 ・みちなびとよたへの掲載 ・沿線観光資源と連携した利用促進策の検討
10豊田	豊田市	名鉄バス(株)	16 おいでんバス(旭・豊田線)	小渡～広瀬～豊田市	・交通系ICカードデータによる利用実態の把握 ・沿線やなでの飲み物サービス ・各種イベントへの参加 ・バス情報のGTFS化の継続 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：64,811 実績：80,446 達成率：124.1% 新型コロナウイルスの収束・ワクチン接種率の上昇に伴い、移動が活発になったため。	27.2	28.3	2.6	11.0	17.6	17.9	旧市町村域を跨ぐ利用者は全体の1割程度にとどまったものの、一定の割合で郊外から中心部への通勤・通学手段として利用されている。	・沿線"やな"での飲み物サービスの実施 ・高齢者定期券の販売促進 ・一日乗車券の導入検討
10豊田	豊田市	名鉄バス(株)	17 おいでんバス(小原・豊田線)	上仁木～西中山～豊田市	・交通系ICカードデータによる利用実態の把握 ・各種イベントへの参加 ・バス情報のGTFS化の継続 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：131,606 実績：157,909 達成率：120.0% 新型コロナウイルスの収束・ワクチン接種率の上昇に伴い、移動が活発になったため。	63.8	59.3	5.3	11.6	32.6	33.5	旧市町村を跨ぐ利用者は全体の1割以下にとどまっているものの、一定の割合で郊外から中心部への通勤・通学手段として利用されている。	・観光資源と連携した利用促進策の検討 ・高齢者定期券の販売促進 ・一日乗車券の導入検討 ・鉄道駅への接続（愛環梅坪駅） ・四郷地区区画整理に対応した経路の検討
10豊田	豊田市	名鉄バス(株)	18 おいでんバス(藤岡・豊田線)(西中山経由)	藤岡中学校前～豊田市	・交通系ICカードデータによる利用実態の把握 ・各種イベントへの参加 ・バス情報のGTFS化の継続 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：77,612 実績：101,216 達成率：130.4% 新型コロナウイルスの収束・ワクチン接種率の上昇に伴い、移動が活発になったため。	30.4	43.3	5.7	7.6	42.3	45.4	旧市町村を跨ぐ利用者は、昨年度とほとんど変わらず約7割と高い割合を保っており、郊外から中心部への通勤・通学手段として重要な役割を果たしている。	・鉄道駅への接続（愛環梅坪駅） ・四郷地区区画整理に対応した経路の検討 ・イベントに合わせ周知や利用促進策の検討 ・高齢者定期券の普及
10豊田	豊田市	豊栄交通(株)	49 おいでんバス(藤岡・豊田線)(加納経由)	藤岡支所～豊田市	・交通系ICカードデータによる利用実態把握 ・各種イベントへの参加 ・バス情報のGTFS化の継続 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：67,847 実績：82,754 達成率：122.0% 新型コロナウイルスの収束・ワクチン接種率の上昇に伴い、移動が活発になったため。	35.0	36.9	3.3	11.3	37.8	31.4	市町村(合併以前)を跨いでの利用者は全体の約4割であり、市郊外から市中心部への通勤・通学手段として利用されていることがわかる。また、昼間時においても、市郊外から市中心部への利用が一定数みられ、生活交通として重要な役割を果たしている。	・観光資源と連携した利用促進策の検討 ・高齢者定期券の普及
10豊田	豊田市	豊栄交通(株)	50 おいでんバス(下山・豊田線)	大沼～鶺鴒ヶ瀬～豊田市	・交通系ICカードデータによる利用実態把握 ・利用実態に合わせたダイヤ改正の検討 ・各種イベントへの参加 ・バス情報のGTFS化の継続実施 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B 目標：139,429 実績：129,972 達成率：93.2% 移動制限の緩和により回復傾向にあるが、目標達成には至っていない。	61.4	73.0	6.3	11.6	35.5	54.8	地域を跨いでの利用者は、昨年度より増加して約3割程度であり、中山間地域から市中心部への通勤・通学手段として重要な役割を果たしている。	・一日乗車券の販売を検討 ・イベントでの周知活動や利用促進策を検討
10豊田	豊田市	豊栄交通(株)	51 おいでんバス(さなげ・足助線)	豊田厚生病院～百年草	・交通系ICカードデータによる利用実態把握 ・利用実態に合わせたダイヤ改正の検討 ・各種イベントへの参加 ・広瀬やなでのドリンクサービス ・バス情報のGTFS化の継続実施 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：143,055 実績：159,084 達成率：111.2% 新型コロナウイルスの収束・ワクチン接種率の上昇に伴い、移動が活発になったため。	57.0	68.0	4.2	16.2	37.8	34.6	地域を跨いでの利用者の割合が1/4程度にとどまっていた昨年度と比べ、今年度は約1/3までに増加しており、中山間地域からの通勤・通学手段以外にも、鉄道駅と観光地を結ぶ路線として、重要な役割を果たしている。	・高齢者定期券の販売促進 ・一日乗車券の導入検討
09刈谷・安城・碧南・西尾	豊田市	共同バス(株)	60 高岡ふれあいバス(路線②)	上丘町～高岡公園～知立駅	・前林地域での学生定期券購入補助継続実施 ・利便性向上に向けたダイヤ改正の実施 ・走行経路の検討 ・高齢者に対する回数券購入補助の実施	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：73,213 実績：87,328 達成率：119.3% 新型コロナウイルスの収束・ワクチン接種率の上昇に伴い、移動が活発になったため。	31.6	31.9	2.2	14.4	24.3	24.6	市町村を跨いでの利用者が93.3%と非常に高い割合となっていることから、生活に欠かせない幹線系統としての役割を果たしている。	・利用目的・時間に応じた走行経路の検討 ・専門家への相談の実施 ・住民アンケートの実施 ・実証実験の実施 ・知立市ミニバスの乗り継ぎ連携 ・乗り継ぎモデルコースの作成

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年 1月 20日

協議会名：	愛知県バス対策協議会
評価対象事業名：	陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	鉄軌道網の整備が進み基幹的公共交通網は維持されているが、自動車分担率が高い地域であることを踏まえた上で、複数市町村を跨ぐ広域的・幹線的な公共交通網の維持・確保を図る。 実施に当たっては、乗合バス事業者等運営主体と沿線市町村が協力して目標設定、利用促進、利便性・生産性向上検討を行い、事業評価にあたっては、運営主体、沿線市町村が情報交換、意見交換を行って、路線の状況を共有化。